

サント・シャペルはサン・ルイが1248年に建設したゴシック様式の礼拝堂である。

敷地は、最高裁判所の敷地にあるのだが、建設時は最高裁判所の位置に王宮があり、王宮の為の礼拝堂として建設された。

ステンドグラスの神秘的な輝きにつつまれた2階の礼拝堂は、王や特権貴族が利用した。ステンドグラスはひとつひとつが聖書、または聖書外典の中の物語になっており、壁面には聖人たちの像がステンドグラスの間に挟まれるように配置されている。

フランス革命時に相当な被害を受けたということもあり、内部は他の礼拝堂とは違い、装飾も華やかである。1階は使用人が利用していたこともあり、1階から2階へ階段を上るとその空間の差がこの建築や時代を物語っているように感じる。

